

2012年度 事業計画書

1. 図書館業務

(1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入

(2) 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理
- ② 図書・特別資料・雑誌副本の遡及入力

(3) 閲覧等サービス

① 閲覧

駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第4木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

2. 展覧会

(1) 館内展示

① 春季展示 4月7日（土）～6月9日（土）

企画展「今こそ人間愛の文学を——「白樺」の時代」展（編集：中村稔、池内輝雄）
あわせて川端康成記念室を開室

② 秋季展示 9月29日（土）～11月24日（土）

創立50周年記念「館刊行物でたどる館の歩み」（仮題。編集：池内輝雄）
あわせて川端康成記念室を開室

その他の期間はレプリカ、複製版、写真などによる通常展

(2) 企画展示の貸出し

- ・新潮社記念文学館「愛の手紙」展（4月21日～6月27日）
- ・山梨県立文学館「石川啄木展」（4月28日～6月24日）
- ・薩摩川内まごころ文学館「樋口一葉展」（会期末定。10～12月）

3. 講座・講演会

(1) 第49回夏の文学教室 テーマ「土地（トポス）の力」（仮題）（読売新聞社後援）

7月30日（月）～8月4日（土）、有楽町・よみうりホール

(2) 声のライブラリー

5月12日、9月8日、11月10日、2013年2月9日の各土曜日 午後2～4時、館ホール
・会の模様をビデオに収録しAV資料の充実をはかる（石橋財団補助事業）

(3) 資料は語る 「文学の＜大正＞—滝田樗陰コレクションを中心に」

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第4土曜日／後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、
館ホール <プログラム 別掲>

(4) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月21日（火）～25日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20
コマ30時間、2単位） <プログラム 別掲>

(5) 文学館へ行こう！（大学生・大学院生向けの館利用案内のための新講座）

春（4月7日、28日）秋（11月3日、23日または24日）各2回、午後1～3時

4. 刊行物

- (1) 「日本近代文学館年誌—資料探索」第8号 2013年3月刊行
- (2) 所蔵資料の映像・既刊雑誌複製版等のデジタル版を含む出版公開

5. 全国文学館協議会

総会は6月開催予定（日時未定）、部会活動、会報の発行、『全国文学館ガイド』増補改訂版の刊行など

6. 広報

館報「日本近代文学館」の続刊

7. 創立50周年・開館45周年記念事業 別紙（議案3）参照。

資料は語る 「文学の〈大正〉—滝田樗陰コレクションを中心に」

（4～5月、9～11月の各第3土曜日、6月の第4土曜日、午後2時～4時）

前期

- 第1回 4月21日 山口 直孝：志賀直哉『雨蛙』の問題—文学者をめぐる葛藤
- 第2回 5月19日 千葉 俊二：大正期の谷崎—『異端者の悲しみ』を中心に
- 第3回 6月23日 伊藤 一郎：芥川龍之介の詩・書・画

後期

- 第1回 9月15日 岩橋 邦枝：野上彌生子の百年
- 第2回 10月20日 荻野アンナ：日本のデュラス、宇野千代
- 第3回 11月17日 池内 輝雄：室生犀星—詩と小説のあいだ

資料の声を聞く 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

講師代表 十川信介 8月21日（火）～25日（土）午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計コマ30時間、2単位）、館ホール

第1日 総論

オリエンテーション

近代文学館とは

坂上 弘

日本近代文学館の所蔵資料とその意義

十川 信介

資料の収集・活用

資料を活用する研究法（講義・演習）（1）図書

東郷 克美

図書の利用（実習）

*西村 洋子

第2日

資料を活用する研究法（講義・演習）（2）雑誌

紅野 謙介

雑誌の利用（実習）

*信國奈津子

資料を活用する研究法（講義・演習）（3）新聞

日高 昭二

挿絵・写真資料の調査・保存（実習）

*吉原洋一・大木志門

第3日

資料を活用する研究法（講義・演習）（4）肉筆資料

宗像 和重

	肉筆資料の解読（実習）	*徳永 美樹
	同時代資料の解読	
	世相を考える資料（講義・演習）	金子 明雄
	編集・出版・検閲（講義・演習）	十重田裕一
第4日	文学の周辺	
	文学と美術・音楽（講義・演習）	中島 国彦
	文学と映画（講義・演習）	安藤 宏
	資料の保存・修理（実習）	*信國奈津子・吉原洋一
	展覧目録の作成（実習）	*大木 志門
第5日	文学をめぐる問題	
	東アジアと日本文学（講義）	池内 輝雄
	草稿・注釈をめぐる問題（講義）	十川 信介
	総括	
	近代文学館に対する要望（質疑応答）	池内、十川、中島、*
	反省会	
		（*印 事務局）

2012. 3. 10